

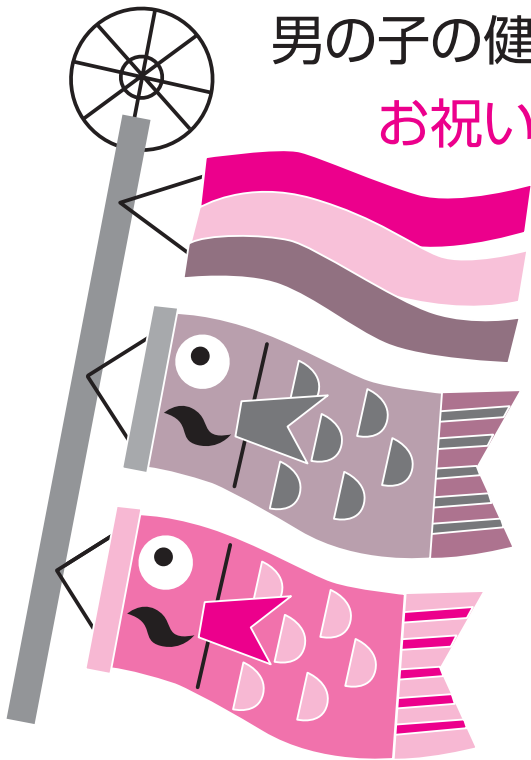
## ～端午の節句～

5月5日は『端午の節句』や『菖蒲の節句』ともいわれ、男の子が丈夫にたくましく成長するようにとの願いをこめてお祝いする行事です。端午は月の初めの午（ウマ）の日という意味で、午と五の音が同じであるため、いつのまにか毎月の5日をさすようになり、5月5日となりました。

強い香気がある菖蒲を軒下につるしたり、お風呂に入れることで厄を祓うといわれています。端午の節句の飾りには、五月人形の内飾りと鯉のぼりの外飾りがあり、五月人形は男の子の健康を願い、鯉のぼりは立身出世を願う飾りだそうです。

お祝いの柏餅は、「柏の木は新芽が育つまで古い葉が落ちないので子孫繁栄（家系を途絶えない）」という縁起をかついだものです。

柏餅といえば小豆あんが一般的ですが、味噌あんもあります。天高く泳ぐ鯉のぼりは街ではなかなか見ることができなくなりましたが、いろいろなあんの柏餅を食べくらべてみてはいかがでしょうか。



 **ウオクニ株式会社**  
<http://uokuni.co.jp>

※当社における食品の安全・安心および健康に関する取り組みについてはホームページをご覧ください。